



## SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取組み	関連するゴール
1	<p>沖興テクノ株式会社 代表取締役 新垣 竹哲</p>	<p>私たち沖興テクノ株式会社は『人のチカラで未来を創造する』をモットーに地域社会の持続的な発展に貢献し SDGs の達成目標に向けて取り組んでいます。</p> <p><b>【環境への取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 工事で使用する建設機械を低騒音・低振動の機械を選定し使用しています。</li> <li>* 建設廃棄物の分別処理や再資源利用等、環境への配慮を行っています。</li> <li>* ICT 化を行い、コピー用紙を再利用し用紙の削減を行っています。</li> <li>* 社内 LED 電球へ交換、使用していない電気の消灯を行っています。</li> </ul> <p><b>【健康・安全への取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 社員の健康管理の為、年 1 回の健康診断の実施・保健師との健康相談を実施しています。</li> <li>* 現場での熱中症対策として、現場作業員へ空調服の支給を行っています。</li> </ul> <p><b>【人材育成への取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* キャリアアップシステムの導入</li> <li>* 社員の資格取得へ講習・受験等に係る費用をサポートしています。</li> </ul> <p><b>【貧困への取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 適正なベースアップを行い、社員の所得向上・安定した収入の維持に努めています。(資格手当・等)</li> </ul> <p><b>【災害・防災への取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 北谷町防災協定を締結し災害時に対応する体制を構築しています。</li> <li>* ダイヤモンド工事業協同組合へ加盟し、沖縄総合事務局と災害時における災害応急対策業務協定を締結し組織体制を構築しています。</li> </ul> <p><b>【地域貢献への取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域ボランティア清掃に参加しています。</li> <li>* 地域文化・スポーツ振興に係る寄付や事業協力を行っています。</li> </ul> <p><b>【平和な社会づくりへの取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 下請業者間において暴力団等による不当介入及び排除要請誓約書の徹底に努めています。</li> </ul> <p><b>【ジェンダー平等への取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 男女の区別なく業務遂行能力と本人の想いを尊重しています。</li> </ul>	


## SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
2	<p>沖縄ターミナル株式会社 代表取締役社長 井上 祐一</p>	<p><b>1. ワークライフマネジメントの推進</b> 社員ひとり一人が心身共に健康で働き続けることができる職場環境づくりが重要であり、社員の健康意識向上を目指します。 ～具体的な取り組み～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント相談窓口の整備</li> <li>・健康診断の実施、再検査費用の助成</li> <li>・ノー残業デーの実施</li> <li>・育児休業取得の推進</li> </ul> <p>・職場でのストレスチェック実施 ・有給休暇の取得促進 ・うちなー健康経営宣言</p> <p><b>2. 環境へ配慮した企業活動</b> 脱炭素、カーボンニュートラルの実現に向け、環境保全に努めてまいります。 ～具体的な取り組み～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2 排出削減に向けた省エネ意識の向上</li> <li>・環境配慮車両への転換</li> <li>・毎年海岸清掃活動を実施</li> <li>・省エネ・省資源の実践と 3R の推進</li> <li>・廃棄物の分別の徹底</li> <li>・社内照明等の LED 化</li> <li>・太陽光発電の導入</li> <li>・ペーパーレス化の推進</li> </ul> <p><b>3. コンプライアンスの徹底</b> 法令遵守の徹底や人材育成、相互啓発による社会から信頼される企業を目指します。 ～具体的な取り組み～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職務に必要な資格や自ら取得希望する資格取得のサポート</li> <li>・内部統制の構築</li> <li>・コンプライアンス教育の実施</li> </ul> <p><b>4. 地域社会への貢献</b> 「地域とともに、社会のために」をスローガンに、地元・地域貢献活動に取り組みます。 ～具体的な取り組み～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域イベントの寄付、協賛、ボランティア参加</li> <li>・地元行事への積極的参加</li> </ul>	


## SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
3	<p>有限会社 沖縄紙業 代表取締役 大仲 秀樹</p>	<p>当社では経営理念(環境保全・人材育成・地域貢献)に基づき持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。</p> <p>■環境保全 本業である古紙リサイクル業を通して沖縄県内での資源の循環を目指しております。 古紙を回収またはお客さまよりお持ち込みいただき、工場内でダンボールや新聞・雑誌など分別作業、梱包作業を行っています。 大手スーパー様より設置されている「エコスポット」で集められた古紙の一部も取り扱っております。 梱包作業後は輸出または県内の製紙会社へ持ち込むことで私たちのもとへ再生紙として再び戻ってきます。 また古紙以外のアルミ缶やスチール缶などの金属類、ペットボトルも取り扱っております。</p> <p>■人材育成 我が社では社員一人一人が「プラス発想」をもちお客様の声にお応えできるよう、組織のパフォーマンス向上を心掛けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の朝礼 一日の行動計画の確認や一人一人の意見交換を行い、コミュニケーションを行うとともに会社の雰囲気づくり、働きやすい環境づくりをしています。</li> <li>・社員の健康管理、衛生管理 年に1回の定期健康診断や人間ドックの受診、その後のサポート体制を整えています。 (再検査や要精密検査の結果に対しての面談や再受診を促す、また定期的な病院受診で休暇を取りやすい環境をつくる、社内掲示版へ社員の健康に沿った改善すべきポイントや具体的な活動内容を記載したポスターの作成・掲示) 熱中症対策など作業環境の管理、感染症予防行動の周知など</li> <li>・現場での安全管理 安全運転管理者を設置し、アルコール検知器での酒気帯び運転の防止や車両の点検整備、社員へ安全運転の声掛けや体調管理を日々行っています。</li> <li>・女性社員が活躍できる職場づくり 我が社では女性社員が現場や事務などで幅広く活躍しています。 女性のライフステージにおける家庭と仕事の両立支援として産休・育休制度、時間単位の有給休暇制度を設けております。</li> </ul> <p>■地域貢献 当社では沖縄の未来や子供たちへの投資を常に心掛けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こども食堂」への活動 店頭で仕入れた古紙代の一部をトイレトペーパーへ変換しこども食堂へ寄贈しています。 (店頭でポスター掲示をしたところ、お客様からも寄付したいとの声が多数あり。お客様からの寄付金も追加し、より多くのトイレトペーパー、タオルペーパーを寄贈しています。)</li> <li>体験活動を届けるため、こども食堂で集められた古紙を実際に当社のパッカー車で回収に行き、積み込みの見学や体験を行っています。 また紙漉き体験や動画を用いてリサイクル循環システムを伝えるリサイクル授業も実施しています。</li> <li>・受験生応援プロジェクト 県内の受験生を応援するため、当社オリジナルの絵馬を作成しています。絵馬は実際に代表が神社へ足を運び学業の神様へ合格祈願したものであり、バスの座席に張り付けたり店頭で配布したりし幅広く活用いただけるよう工夫しています。</li> <li>・こども110番の登録</li> <li>・県内のスポーツ支援(琉球ゴールデンキングスのオフィシャルパートナー登録、部活動遠征費の寄付)</li> </ul>	

## SDGs の達成に向けた取組


No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
4	<p>有限会社沖縄花火 代表取締役社長 金城 義信</p>	<p>沖縄花火はこれまで国、県の催物をはじめ、さまざまな市町村まつり、フェスティバル、博覧会、各種イベントにおいて、花火を打ち揚げてきました。沖縄花火は安全性に優れた電気点火方式や、他社に先駆けたシステムを業界でもいち早く取り入れ、仕込みや消費時の安全性を重視した取り組みを行っております。また、遠隔操作でタイミングよく音楽とシンクロした花火を演出しています。</p> <p>(取り組み方針) 私たちは人を中心に社会全体を考え花火を通した事業活動を通し、身近な取り組みの中から持続可能な社会の実現に向けて環境、社会への負の影響が最小限となるよう努力しています。</p> <p>(具体的な取り組み内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用済み材料の再利用（使用済みの部品を回収して、製造業者へ送り二次利用に役立てる）</li> <li>・ 商品を仕入れた際の段ボール箱を、製造業者へ送付し再利用している）</li> <li>・ ゴミを減量化するエコ花火（綿の実や籾殻、生分解性プラスチックを採用しゴミを減量化）</li> <li>・ 環境に優しい花火の玉皮を使用（全面天然素材の紙を使用しデンプン質の糊でできた玉を使うことだから海に落ちた際、海の生き物への影響を最小限にとどめる事ができる）</li> <li>・ フレックスタイムを導入することによりライフワークバランスを推進する</li> <li>・ AED（自動体外式除細動器）の導入（弊社に来られるお客様、従業員をはじめ、地域のみなさま様の不測の事態へも対応できるよう設置している）</li> <li>・ 離島の子供たちへの玩具花火の提供（安全に花火を楽しんでもらえるよう、環境に配慮した玩具花火を提供している）</li> <li>・ 150年前の琉球王国時代からのからくり仕掛け花火の復元（琉球王国時代に組み踊りと共に実施されていたからくり仕掛け花火の復元を通して、沖縄の伝統芸能を後世へも引き継ぐ）</li> </ul>	

## SDGs の達成に向けた取組


No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
5	有限会社 Sea World 代表取締役社長 嘉手刈 武志	<p>SDGs・Goal14「海の豊かさを守ろう」のパートナーシップの取組みとして、県内外のお客様にマリンアクティビティを通じて海あそびの楽しさや沖縄の海の素晴らしさを伝えていくとともに、沖縄の美しい海の環境を守り、海と海洋生物の生態系を維持・回復させて次世代にこの海を引き継ぐために以下の取組を実施し、海況環境への悪影響の広がりを防止する啓蒙活動を行っています。</p> <p>持続可能な海洋資源保護の具体的な対策としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シュノーケルツアーやダイビングの際、海洋生物に対してのノータッチマナーの周知</li> </ul> <p>脆く折れやすいサンゴや毒性のある生き物に触らないように、ツアー前にお客様にご説明し、シュノーケリング中も最大10名に対し1人インストラクターが付くことでお客様がサンゴの上に立つことや、生き物に触れることを未然に防いでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンゴの白化・損傷の原因となる「オキシベンゾン」と「オクチノキサート」を含まない日焼け止めの使用を推奨</li> </ul> <p>日焼け止めによるサンゴへの影響や、サンゴにやさしい日焼け止めのリストを船上で掲載しお客様へ周知しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・停泊時サンゴを傷つけない為にダイバー潜行による錨の設置</li> </ul> <p>シュノーケリングやダイビングのポイントで船を停泊させる際、錨を船から投げ入れてしまうとサンゴを傷つけてしまう恐れがあるため、弊社ではダイバーが潜行しサンゴを傷つけない場所を探し、錨を固定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアー時のごみの回収やトイレトペーパーを海に流さない取組み</li> </ul> <p>基本的に船に設置してあるマリントイレは最終的に海に流れるような仕組みになっています。そのため弊社では使用後のトイレトペーパーは流さずに回収し処分しています。</p> <p>その他下記のパートナーシップにも積極的に取り組んでいます。</p> <p>SDGs・Goalの1「貧困をなくそう」</p> <p>マリンレジャー産業は価格競争から、最低賃金よりも低い人件費や、長時間の残業や少ない休日などで雇用が行われている現状が多くみられるため、弊社では適正な価格でサービスを提供し、社員へ還元することにより持続可能な雇用を目指しています。</p> <p>SDGs・Goalの5「ジェンダー平等を実現しよう」</p> <p>男女の差別なく同一労働・同一賃金が実践されているだけでなく、マリンレジャー業界ではまだ少ない女性の船長も多く在籍しています。</p> <p>また育児と業務の両立のためにリモートワークで働く従業員も在籍しています。</p> <p>SDGs・Goal8「働きがいも経済成長も」</p> <p>船舶免許などの取得のサポートや補助を行う事でスキルアップを図っています。</p> <p>また自然環境の維持や生物の保護、人命救助の勉強会などに参加しスタッフが学び、考え、意見を交換する機会を作る事でやりがいや意欲をもって日々の業務に取り組むことを目指します。</p>	



## SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
6	(株)第一三興建設 代表取締役社長 亀谷 善史	<p>(株)第一三興建設は、公共インフラを担う土木建設工事、またその資材であるアスファルトの製造業を通して、県民の生活の基礎を支え、沖縄県経済発展の未来を切り開く活動に取り組んでおります。</p> <p>社内においてはかねてより【豊かな森】構想を掲げ、社員一同日々研鑽に励んでいます。</p> <p>森を豊かにするように、それぞれが技術的・精神的に成長し盤石な基盤を構築する事で、しっかりと分配ができる組織として成長していくために日々取り組んでいます。また自ら製造したアスファルトの道路も、役目を終えた際にはリサイクルしてまた新たな道路へと変えていく、その循環の輪を推し進め県内資源を活用し、更には世界の環境に寄与していく事で、SDGsの大きな目標である住み続けられる街づくりを下支えしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●建設資材のリサイクル                          県内インフラ工事に従事する中で発生するアスファルト殻をリサイクルし、再生アスファルトの製造推進により、原料採掘から道路舗装までに発生する二酸化炭素排出を軽減します。</li> <li>●毎年給与をベースアップ                          社会情勢に関わらず、全社員の給与を毎年ベースアップして継続的に経済的な安定を支援しています。また若年者特別手当を支給し、日常生活への安心感を後押ししています。</li> <li>●地域美化清掃への参加                          各営業所の地域において、住みやすい環境づくりの一環として美化清掃活動を行っています。</li> </ul>	 <p>The image shows six SDG icons: 1 (貧困をなくそう), 8 (働きがいも経済成長も), 9 (産業と技術革新の基盤をつくろう), 11 (住み続けられるまちづくりを), 12 (つくる責任 つかう責任), and 13 (気候変動に具体的な対策を).</p>

## SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
7	有限会社大幸産業 代表取締役 大城 實	<p>弊社は、沖縄本島内より使用済み天ぷら油（廃食油）の回収・リサイクルを行っており、カーボンニュートラルの元となる再生燃料を、様々な企業様へ供給を行っております。車両の燃料であるバイオ燃料、バイオマス発電の燃料として CO2 を増やさない、電気を発電する事も可能になっております。「沖縄の環境と未来を創造する」をスローガンとして、循環型社会構築に向けて取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルの向上や人材育成の為、資格取得費用負担や、取得後の手当の支給を行っています。</li> <li>・事務所内でのコピー用紙の削減や、裏紙の再利用、紙での勤怠管理をデジタル化へ。ペーパーレス化されたことで、環境、社会へのコスト削減につなげています。</li> <li>・赤い羽根共同募金等への寄付活動。</li> <li>・熱中症対策として、工場内では、水分や塩分補給の用意。</li> <li>・蛍光灯から LED 照明へ順次更新し、消費電力を抑える取り組み。</li> <li>・3R の推進、リサイクル可能な物は全てリサイクルを行い、廃棄物は最小限にする。</li> <li>・回収した廃食油は 100%リサイクルを行う。</li> <li>・廃食油回収車へ、ハイブリッド車の導入をおこなうことで、排出ガスの削減へ。</li> <li>・廃温水を廃食油精製時に、加温工程にて再利用することで、燃料費の削減、節水につながります。</li> </ul>	 <p>The image shows five SDG icons: Goal 1 (No Poverty), Goal 4 (Quality Education), Goal 7 (Affordable and Clean Energy), Goal 13 (Climate Action), and Goal 14 (Life Below Water).</p>

## SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
8	琉幸建設株式会社 幸地 優	<p>総合建設業を通して地域の発展や災害に強い町づくりに貢献します。</p> <p>雇用の安定を図り貧困問題の解決に貢献します。</p> <p>年1回の健康診断を行い従業員全員の健康促進に取り組んでいます。</p> <p>資格取得支援や産休・育児休暇制度を利用し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>建設機械（バックホー）や車両（ダンプトラック）は低排出ガス車を積極的に取入れ、地球温暖化対策へ取り組んでいます。</p> <p>ボランティア活動に積極的に参加し海岸や道路の美化活動に取り組んでいます。</p> <p>建築工事や土木工事で発生する産業廃棄物を可能な限り分別・リサイクルし資源の再利用に取り組んでいます。</p> <p>石材部では鉱山にて琉球石灰岩を採掘し、自社工場にて加工し、お墓や住宅・ホテルの内外装を施工しております。</p> <p>石材加工の際に発生する切れ端材を自社砕石場にてクラッシャーランにリサイクルすることで路盤材として販売し、再利用に取り組んでいます。</p>	